

2023年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

資料3

1 2023年度第2回市町村実務担当者会議の開催状況

【開催日時】

2024年1月31日（水） 午前10時00分から午前11時30分まで

（1）県からの報告事項

- ①2023年度上半期の障害者差別に関する相談状況について
- ②障害者差別解消支援地域協議会の設置について
- ③2023年度第1回愛知県障害者虐待・差別解消推進協議会について
- ④2022年度の障害者虐待の状況について
- ⑤2023年度上半期の障害者虐待の状況について（速報値）
- ⑥障害者虐待に係る事前質疑等について
- ⑦精神科病院における虐待通報の義務化について

（2）事例検討（養護者による障害者虐待への対応）

2 愛知県障害者権利擁護センターとしての活動実績

（1）市町村相互間の連絡調整

- ①障害者福祉施設従事者等による障害者虐待事案における関係自治体との連絡調整（県内43市町、県外5市町、厚生労働省）
- ②障害者福祉施設従事者等による障害者虐待事案における関係者会議への出席（計3回）

（2）使用者による障害者虐待に係る通報・届出等の受理

- ①本県が通報・届出を受理して、労働局に報告（3件）
- ②その他の使用者とのトラブルに係る相談等（3件）

（3）障害者虐待に係る対応相談等

- ①市町村からの報告・相談に対する情報提供、助言等（随時）
- ②嘱託弁護士からの意見を踏まえた市町村への助言（月2回）

3 愛知県における障害者虐待防止・権利擁護・成年後見制度研修

○相談窓口職員向け（市町村・障害者虐待防止センター・基幹相談支援センター等）

日程	研修内容	受講者
12月6日（水）	・本県障害者虐待の動向等について【講義】 ・障害者虐待対応における相談窓口職員の対応方法（事例を通じて）【講義・演習】 ・関係機関の理解と連携について【講義】 ・施設従事者による障害者虐待の通報受理から虐待の判断にかけての演習【演習】	72名

⇒アンケート結果 P. 2

○障害福祉サービス事業所向け（設置者及び管理者、サービス管理責任者、従事者等）

日程	研修内容	受講者
新規入職者向け 6月13日（火）	・虐待防止の基本と障害の理解を通して虐待を防ぐ【講義・演習】	81名
従業者向け 12月12日（火） 1月19日（金）	・本県の障害者虐待の動向等について【講義】 ・「知っておきたい 虐待のこと」～虐待防止の手引き解説～【講義・演習】 ・演習①「虐待防止・身体拘束適正化の義務内容把握」、 演習②「虐待の芽を摘むための取組」、 演習③「アンガーマネジメント研修体験」	各100名 （定員）
管理者向け 12月5日（火） 1月24日（水）	・本県の障害者虐待の動向等について【講義】 ・虐待を「わがこと」とし、風通しのよい組織運営を目指して【講義】 ・虐待が疑われる事案への対応、身体拘束適正化への取り組み【演習】	各100名 （定員）

⇒「従業者向け」「管理者向け」（12月分）アンケート結果 P. 3～4

○成年後見制度利用推進研修

日程	研修内容	定員
12月5日（火） 1月24日（水）	成年後見制度と意思決定支援（法人後見の取り組み）【講義】	各100名
1月31日（水）	・自治体職員や相談員に求められる成年後見制度の基礎理解及び意思決定支援の基本的考え方【講義・演習】 ・法人後見の基礎理解と普及に向けた検討～親亡き後や身元保証等の課題を踏まえて～【演習】	80名

⇒アンケート結果集計中

○相談窓口職員向け アンケート結果（一部抜粋）

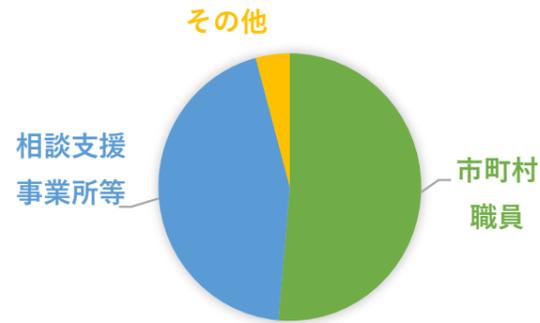
1. 受講者情報

(1) 出席者数・アンケート回収率

(受講決定者:79名)	人数	割合
出席者	72人	91%
アンケート回収	44人	61%

(2) 所属

	人数	割合
市町村職員	37人	51%
相談支援事業所等	32人	44%
その他	3人	4%



その他

保健所、精神保健福祉センター、こころの健康推進室

2 研修の開催方法について

・研修の長さについて

	人数	割合
長い（半日にしてほしい等）	5人	11%
ちょうどよい	28人	64%
短い（2日間行ってほしい等）	10人	23%
その他	1人	2%
合計	44人	100%

・研修の構成について

	人数	割合
基礎的な知識を獲得できる講義を充実してほしい	6人	14%
実践的な通報の受付場面等の講義を充実してほしい	3人	7%
実践的な事実確認場面等の講義を充実してほしい	14人	32%
実践的な虐待を判断した後の被虐待者・事業所への支援指導場面等の講義を充実してほしい	16人	36%
受講者同士のグループワーク（演習）を充実してほしい	2人	5%
その他	2人	5%
特になし	1人	2%
合計	44人	100%

3. 所属の虐待防止に係る体制整備状況について

(1) 所属の障害者虐待を受付するマニュアル等の整備、関係職員への周知

	人数	割合
独自のマニュアルが作成されており、関係職員に周知されている。	7	32%
独自のマニュアルは作成されているが、担当職員しか把握していない。	4	18%
独自のマニュアルは作成されていないが、関係職員で対応が周知されている。	4	18%
独自のマニュアルは作成されておらず、担当職員しか把握していない。	3	14%
わからない	2	9%
その他	2	9%
合計	22	100%

(2) 担当職員不在時の対応について

	人数	割合
障害者虐待防止担当職員不在の場合でも、複数名が対応できる体制にある。	11	50%
障害者虐待防止担当職員不在の場合、応じた職員が通報を受け付け、必要事項を確認して所属で判断することができる。	5	23%
障害者虐待防止担当職員不在の場合、通報を受け付けることができず、改めて連絡をすることになる。	3	14%
わからない	2	9%
その他	1	5%
合計	22	100%

○感想・意見等（一部抜粋）

- ・実際に、通報を受けた後の対応・判断などの講義はとても良かった。
- ・言葉がけなど実践が難しい。ロールプレイを多くして、聞かれる立場も大事にしたい。
- ・他市町村の出席者から情報収集が出来たことは、大きな収穫となりました。
- ・事案によっては、必要に応じて適切に警察へ援助要請していくことを組織全体で意識していきたい。

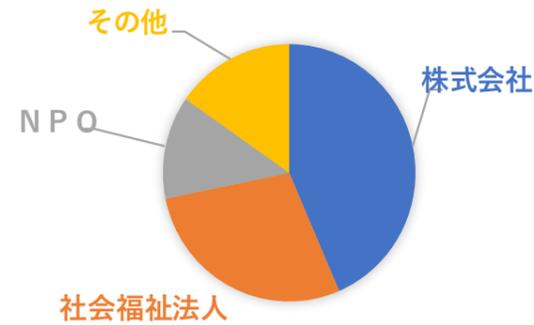
○従業者向け（12月実施分） 受講後アンケート結果

(1) 出席者数・アンケート回収率

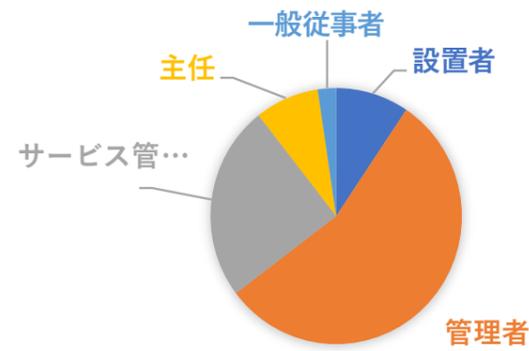
	人数	割合
出席者	89人	89%
アンケート回収	85人	96%

(2) 所属・サービス種別・役職

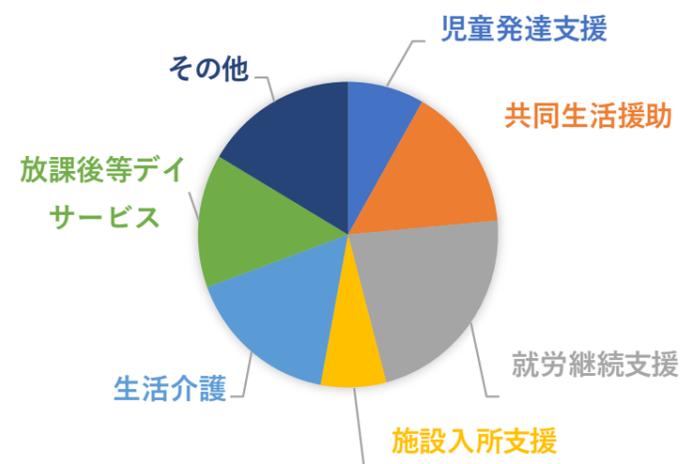
	人数	割合
株式会社	37人	44%
社会福祉法人	24人	28%
NPO	11人	13%
その他	13人	15%



	人数	割合
設置者	8人	9%
管理者	47人	55%
サービス管理責任者	21人	25%
主任	7人	8%
一般従事者	2人	2%



	人数	割合
児童発達支援	7人	8%
共同生活援助	13人	15%
就労継続支援	19人	22%
施設入所支援	6人	7%
生活介護	14人	16%
放課後等デイサービス	12人	14%
その他	14人	16%



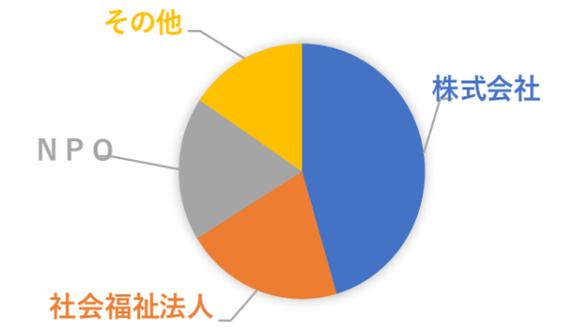
○体制整備担当者向け（12月実施分） 受講後アンケート結果

(1) 出席者数・アンケート回収率

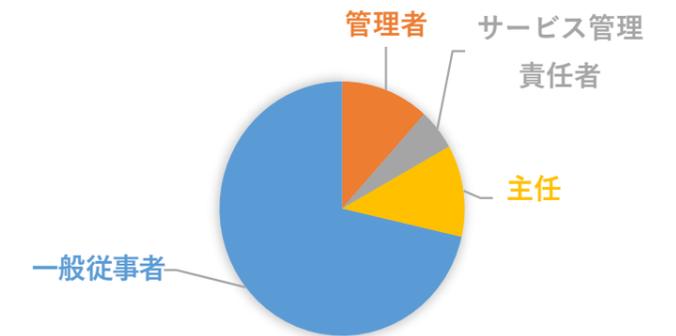
	人数	割合
出席者	89人	89%
アンケート回収	77人	87%

(2) 所属・サービス種別・役職

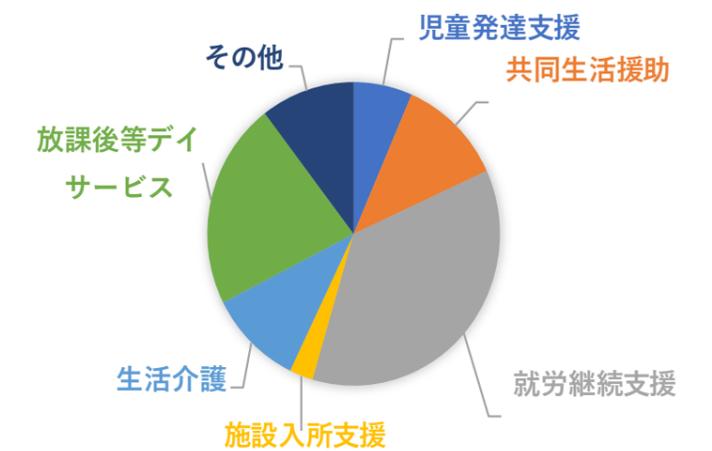
	人数	割合
株式会社	35人	45%
社会福祉法人	16人	21%
NPO	14人	18%
その他	12人	16%



	人数	割合
設置者	0人	0%
管理者	9人	12%
サービス管理責任者	4人	5%
主任	9人	12%
一般従事者	55人	71%



	人数	割合
児童発達支援	5人	6%
共同生活援助	9人	12%
就労継続支援	28人	36%
施設入所支援	2人	3%
生活介護	8人	10%
放課後等デイサービス	17人	22%
その他	8人	10%



○感想・意見等（一部抜粋）

①本県の障害者虐待の動向等について 共通

- ・全体を通じて、勤め先の分類に分かれて着席するスタイルがとても良かった。欲を言えば、その中でも三河・尾張と別れていれば、情報交換やお互いの研修のアポとりもしやすいと思いました。
- ・講義のスピードが早く、講義の時間内に理解することが難しかった。
- ・障害者虐待があった場合の相談・通報に係るその後の自治体の対応策について、事例の紹介説明をしていただくと参考になります。

②「知っておきたい 虐待のこと」～虐待防止の手引き解説～ 従業者向け

- ・虐待を防止するための事案照会をしてほしい。
- ・「意思決定支援」を忘れずに支援していきたい。
- ・他事業所間でのグループワークでは、本音で様々な意見を出し合えた。大変理解しやすかったです。
- ・福祉の仕事が感情労働であることを事業所内で共有したい。
- ・交換条件の提示など日々の支援にも虐待が潜んでおり、常に見直す必要があると感じられた。虐待が起こりやすい環境を見直し、本人の思いや支援の目的をその都度確認していきたい。
- ・事業所での取組の参考になる様々な事例を聞くことができ、その中で事業所の課題についても考えさせられた。

③「虐待防止・身体拘束適正化の義務内容把握」「虐待の芽を摘むための取組」 従業者向け

「アンガーマネジメント体験研修」

- ・アンガーマネジメント研修なるものを初めて受講し、大変参考になりました。
- ・事例を交えての研修は、大変分かりやすく勉強になりました。ただ、グループワークでは、同じ環境の事業所さんと話し合えると、より共有できるのではないかと思います。（例えば、就労継続支援事業所B型でグループを作る等）
- ・必要な支援について、説明できる理由を明確にすることが大切だと感じた。また、家族や本人との信頼関係の重要性も感じた。
- ・自分たちの支援について、見直し話し合い、虐待や身体拘束がなくなるように全員で意識することができるよう話し合い考えることの大切さを改めて理解できた。
- ・事業所で実施していたが、よく分からない状態だったため、今後は現場職員にもより理解してもらえるように工夫していきます。

④虐待を「わがこと」とし、風通しのよい組織運営を目指して 体制整備担当者向け

- ・プロセスについては理解できましたが、法人格が違い過ぎる。小さな法人では、参考にする部分が難しい。障害種別も違う。
- ・組織をマネジメントする能力について、トレーニングを受けた人格的成熟者が必要。
- ・本当にコツコツと虐待に関して意識を持つ取り組みをされている所がよかった。
- ・どの職場にも起こり得る案件なので、他人事ではなくわがこととして受け止めて対応を怠らないことが、被害を最小限に抑える・なくす一歩だと痛感しました。
- ・通報（相談）とあるが、その具体的な関係が良くつかめないことと、虐待防止センターについて詳しい情報をつかんでいないため、市町村と連携する必要性を感じた。
- ・自分の事業所、法人は同じようなことをしていないか考えるきっかけとなりました。

⑤成年後見制度と意思決定支援（法人後見の取り組み） 体制整備担当者向け

- ・制度の内容に係る講義形式だったので、もう少し具体例や身近な事例などがあるとわかりやすかったです。
- ・地域の権利擁護センターなどの事をあまりよく知らないの、そこを知る所から始めたい。
- ・この制度の内容が少しわかり、利用児の保護者から将来を心配するにあたり、成年後見人制度について尋ねられる事があったので、今後は保護者の不安を少しでも解消できるお手伝いができそう。
- ・何が本人にとっての最善の利益なのか？一人一人のケースがあって難しいなと感じました。

⑥虐待が疑われる事案への対応、身体拘束適正化への取り組み 体制整備担当者向け

- ・今回のワークでご家族の気持ちも知る事が出来たので、身体拘束はやむを得ないではなくて、なくしていく事を頭に支援を練る。
- ・明らかな虐待ではなくグレーな部分に関して、小さいと思えるこれぐらいあるよねという事案についても通報する大切さを学んだ。またそういったことがあったときに次同じようなことが起こらないためにどうしていけばよいのか改善を虐待防止委員会で話し合い、従業者に周知し、起こらないように考えていく大切さも学んだ。
- ・グループワークの時間がもう少しあると良かったです。
- ・この内容は管理者というより、法人の理事長が全員視聴を義務にしてほしい。理事長への研修の機会少ないと思う。
- ・ロールプレイ時に親の立場でお話をして、預けている分、弱い立場として感じる事ができた。
- ・他害等の問題行動に対するふさわしい対応を学ぶ機会ではなかったので、そこも同時平行で学ぶ機会が必要だと感じた

○従業員向け 申込者アンケート結果

(1) 障害者虐待防止に係る研修が実施されているか。(回答数278人)

実施されている	240人
年度内に実施される予定	19人
実施されていない	5人
わからない	14人



(2) 虐待の防止等のための責任者(担当者)が設置されているか。(回答数278人)

設置されている	255人
年度内に設置される予定	3人
設置されていない	1人
わからない	19人



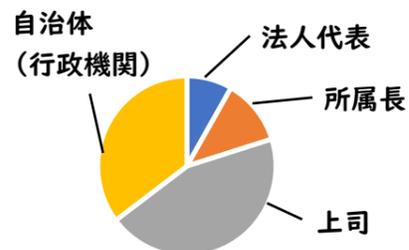
(3) 虐待防止委員会が設置され、検討結果周知されているか。(回答数278人)

設置・周知がされている	222人
設置しているが周知されていない	25人
設置されていない	5人
わからない	26人



(4) 障害者虐待を発見した際、具体的な通報先はどこか。(回答数278人)
(最もふさわしいもの1つ)

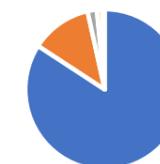
法人代表	23人
所属長	33人
上司	124人
自治体(行政機関)	98人



○体制整備担当者向け 申込者アンケート結果

(1) 障害者虐待防止に係る研修が実施されているか。(回答数372人)

実施されている	313人
年度内に実施される予定	46人
実施されていない	7人
わからない	4人
その他(開所まもない)	2人



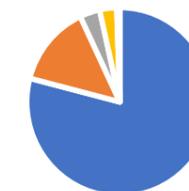
(2) 虐待の防止等のための責任者(担当者)が設置されているか。(回答数372人)

設置されている	350人
年度内に設置される予定	7人
設置されていない	6人
わからない	9人



(3) 虐待防止委員会が設置され、検討結果周知されているか。(回答数372人)

設置・周知がされている	294人
設置しているが周知されていない	52人
設置されていない	13人
わからない	11人
その他(開所まもない)	2人



(4) 障害者虐待を発見した際、具体的な通報先はどこか。(回答数372人)
(最もふさわしいもの1つ)

法人代表	65人
所属長	49人
上司	26人
自治体(行政機関)	232人

